ご使用の前に

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指のけがに注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●安全のため、ご使用の前に「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠ 警告

●**走行中は運転者による操作をしない…**
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●**本機を分解したり、改造しない…**
事故や火災、感電の原因となります。

●**ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…**
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店に相談してください。

●**万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店に相談する…**
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●**本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店に依頼する…**
専門技術と経験が必要です。

⚠ 注 意

●**運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●**ディスク挿入口に指を入れない…**
ケガの原因となることがあります。

●**ディスク挿入口に異物を入れない…**
火災や感電の原因となることがあります。

●**本機を車載用以外には使用しない…**
感電やケガの原因となることがあります。

●**電源を切るときは、音量を最小にする…**
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

注 意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

CDまたはMDの演奏について

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
CDまたはMDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

表示画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「**エラー表示について**」の項を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのついたCDをご使用ください。
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

●CD-R/CD-RWを使用する場合は、音楽用CD-R/CD-RWを使用してください。また、CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、録音状態によっては使用できない場合があります。

●各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。

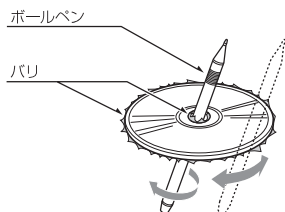
■取扱上のご注意

●CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。

●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。

●レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

■保管時のご注意

●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。

●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

MDについて

マークのついたMDをご使用ください。

■取扱上のご注意

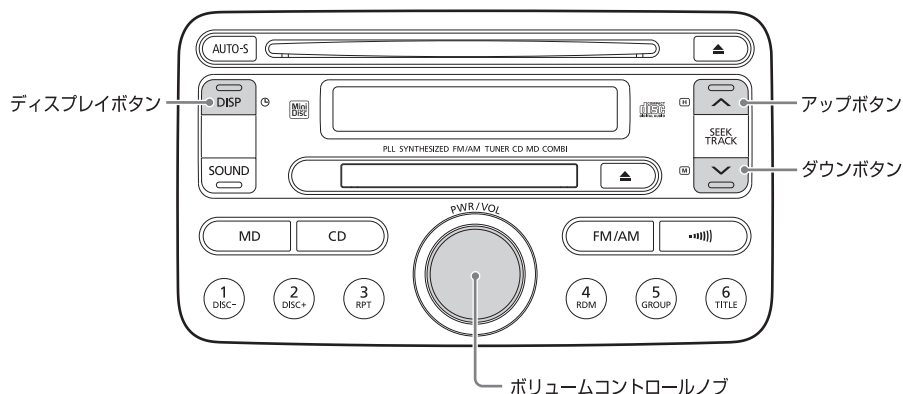
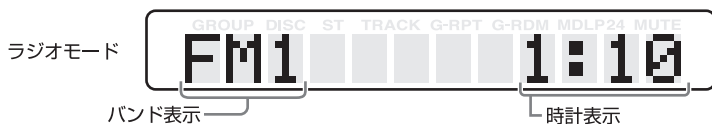
●直射日光が当たる場所や、温度･湿度の高い場所には保管しないでください。

●MDのシャッターを手で開けないでください。

●ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。
そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■お手入れ

●カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

基本の操作

<ディスプレイ>
時計表示のとき

※時計未設定の場合、点滅しています。

電源を入れる

システムチェックについて…
はじめて電源を入れると、システム接続確認を開始し、デイスプレイに"SYSTEM CHECK "を表示します。

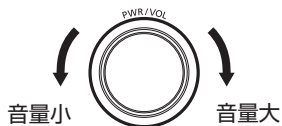
1 ボリュームコントロールノブを押す

→前回の操作終了時のモードが表示されます。

電源を切るときは…

ボリュームコントロールノブを押してください。

音量を調節する

1 ボリュームコントロールノブを回す

→右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

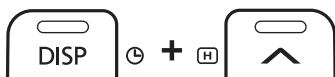
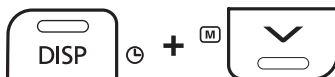
⚠注 意

• 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

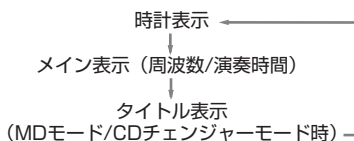
時刻を合わせる

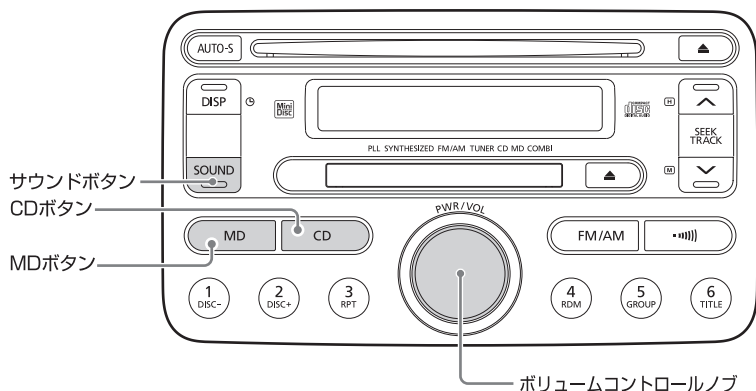
時計表示について…
本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。

- 時計は12時間表示です。
- 本機の電源が切れているときでも、時刻合わせはできます。

1 時を合わせるときは、ディスプレイボタンを押しながらアップボタンを押す

2 分を合わせるときは、ディスプレイボタンを押しながらダウンボタンを押す

表示を切り替える

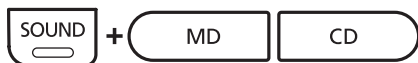
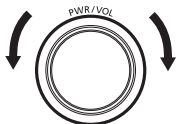
1 ディスプレイボタンを押す

→押すたびに、次のように切り替わります。

ディスプレイ表示を消すには…
電源OFF中に、ディスプレイボタンを押してください。押すたびに切り替わります。

基本の操作

ディスプレイのコントラストを調整する

コントラスト調整について…
ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

• コントラストの初期値は、＋5です

1 サウンドボタンを押しながら、CDボタン、MDボタンを同時に押す

2 ボリュームコントロールノブを回す

• 調整範囲は、+6～－5です。

ディスプレイの明るさを調整する

1 ライトスイッチがONのときに、ボリュームコントロールノブを押し続ける(約2秒間)

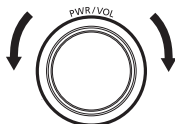
→ディスプレイが明るくなります。

• 車両のライトスイッチをOFFすると、この機能は解除されます。(設定を保持することはできません。)

音質（バス／トレブル）／バランス／フェダーを調整する

1 サウンドボタンを押す

→押すたびに、次のように切り替わります。

2 ボリュームコントロールノブを回して調整する

- BASS/TREBLE調整範囲は、－6～＋6です。
- バランス調整の場合、左に回すと左のスピーカーの音が強調され、右に回すと右のスピーカーの音が強調されます。調整範囲は、LEFT9～RIGHT9です。
- フェダー調整の場合、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調され、右に回すと前のスピーカーの音が強調されます。調整範囲は、REAR9～FRONT9です。
- 5秒以上操作をしないと元のモードに戻ります。

ラジオを聴く

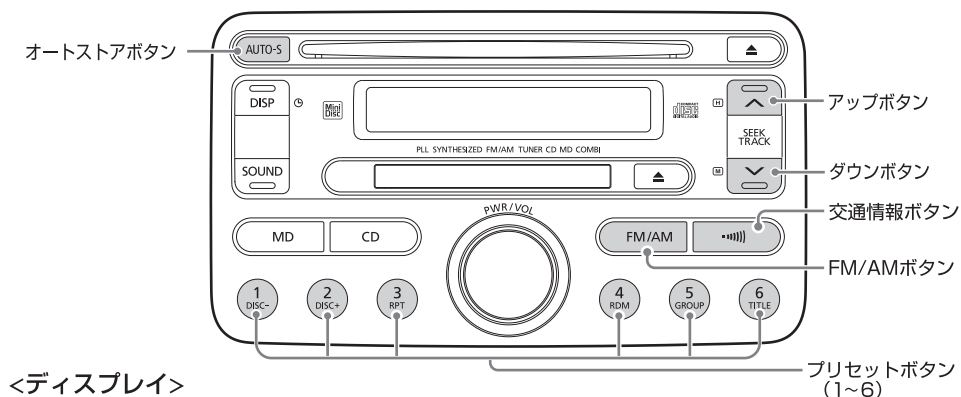
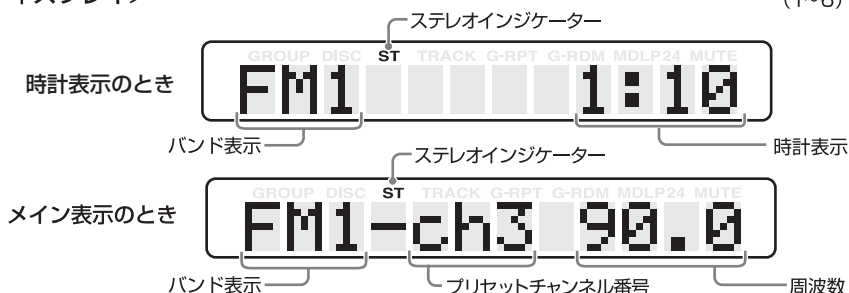
オートストアボタン
AUTO-S
DISP
SOUND
PLL SYNTHESIZED FM/AM TUNER CD MD COMBI
SEEK TRACK
アップボタン
ダウンボタン
交通情報ボタン
FM/AMボタン
MD
CD
PWR/VOL
FM/AM
1 DISC-
2 DISC+
3 RPT
4 RDM
5 GROUP
6 TITLE
プリセットボタン（1~6）

<ディスプレイ>

時計表示のとき

ステレオインジケーター
GROUP DISC ST TRACK G-RPT G-RDM MDLP24 MUTE
FM1 1:10
バンド表示
時計表示

メイン表示のとき

ステレオインジケーター
GROUP DISC ST TRACK G-RPT G-RDM MDLP24 MUTE
FM1-ch3 90.0
バンド表示
プリセットチャンネル番号
周波数

FM/AMを選ぶ

1 FM/AMボタンを押す

FM/AM

→押すたびに、次のように受信バンドが切り替わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

ステレオ放送の受信について…

ステレオ放送を受信すると、ディスプレイのステレオインジケーター「ST」が点灯します。

ご注意

• 本機はAMステレオ放送には対応しておりません。

交通情報を聴く

1 交通情報ボタンを押す

→交通情報放送局(AM1620kHz)を受信します。

元のモードに戻すには…

もう一度、交通情報ボタンを押してください。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 オートストアボタンを押し続ける(約2秒間)

AUTO-S

→ビープ音が鳴り、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1〜6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

自動選局する(シーク選局)

1 アップ/ダウンボタンを押し続ける(約1秒間)

→放送局のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 アップ/ダウンボタンを押す

→受信している周波数が表示されます。

放送局をメモリーする(プリセットメモリー)

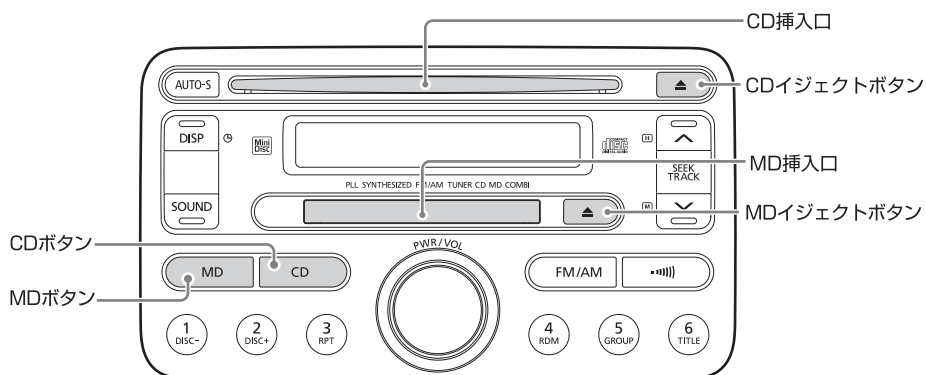
プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 メモリーしたい放送局を選ぶ

2 メモリーしたいプリセットボタン(1〜6)を押し続ける(約2秒間)

→ビープ音が鳴り、プリセットNo.と周波数表示が1回点滅して、メモリーされます。

プリセット選局について…
あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。
メモリーしたあとに、プリセットボタン(1〜6)を押してください。

CD/MDを聴く

<ディスプレイ>
時計表示のとき

ディスクを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンスイッチがONまたはACCであればCDまたはMDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

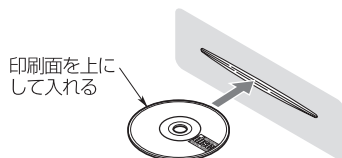
⚠注 意

- CD/MD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。

シングルCD(8cmCD)について…

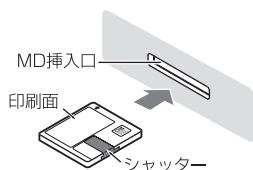
- シングルCDは、アダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

■CDの場合

1 CD挿入口にCDを入れる

→CDを入れると、演奏が始まります。

- COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのないCDやCD-ROMは、使用できません。
- CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。
- CDは、印刷されている面を上にして入れてください。

■MDの場合

1 MD挿入口にMDを入れる

→MDを入れると、演奏が始まります。

- 本機は Mini Disc マーク表示の無いMDは使用できません。
- MDは、印刷面を上に、シャッター板を右側にして入れてください。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDまたはMDを取り出すことができます。

■CDの場合

1 CDイジェクトボタンを押す

→CDがイジェクトされます。

- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。（オートリロード機能）
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

■MDの場合

1 MDイジェクトボタンを押す

→MDがイジェクトされます。

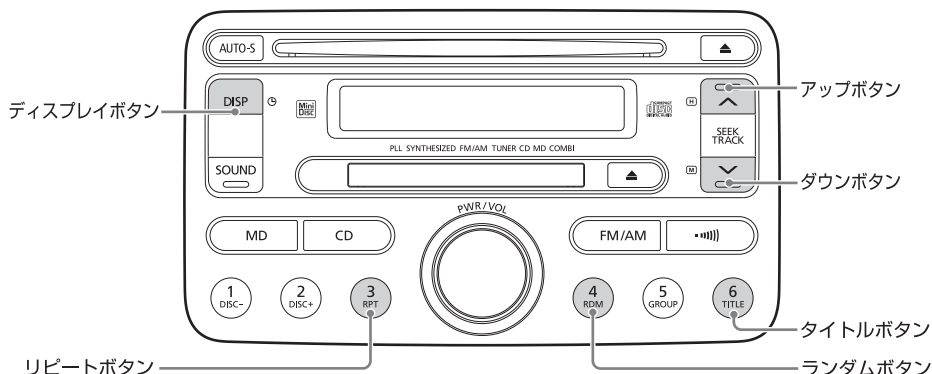
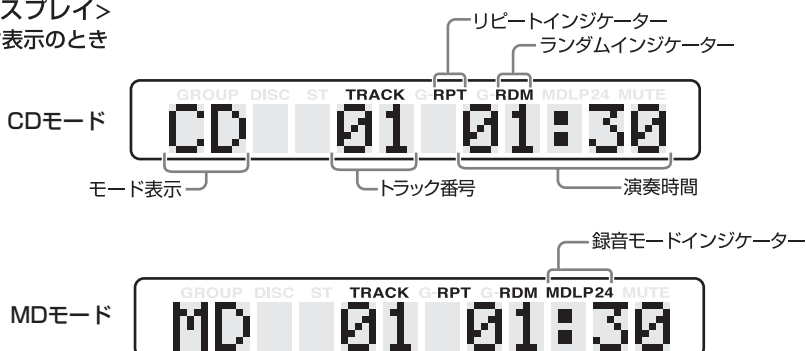
- イジェクトされたMDは、必ず取り出してください。

すでに入っているディスクを聴く

1 CDボタンまたはMDボタンを押す

MD　CD

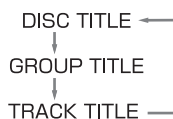
→ＣＤモードまたはＭＤモードになると、自動的に演奏が始まります。

CD/MDを聴く

<ディスプレイ>
メイン表示のとき

タイトル表示を切り替える(MDのみ)

1 ディスプレイボタンを押してタイトル表示を選ぶ

- 詳しくは、9ページをご覧ください。

2 タイトルボタンを押して表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り替わります。

- 一度に表示できる文字数は、12文字までです。
- タイトル名が13文字以上の場合は、タイトルボタンを2秒以上押してください。ビープ音が鳴りページを送ります。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、アップボタンを押す

前の曲を聴くときは、ダウンボタンを2回押す

（次の曲）

（前の曲）

→アップボタンを押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→ダウンボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

• 曲の頭部分を演奏しているときにダウンボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り、早戻しする

1 早送りするときは、アップボタンを押し続ける

早戻しするときは、ダウンボタンを押し続ける

（早送り）

（早戻し）

1曲を繰り返し聴く（リピート演奏）

リピート演奏について…

演奏中の1曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

→「RPT」インジケーターが点灯し、「TRACK REPEAT」を表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

ランダムに演奏を聴く（ランダム演奏）

ランダム演奏について…

全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

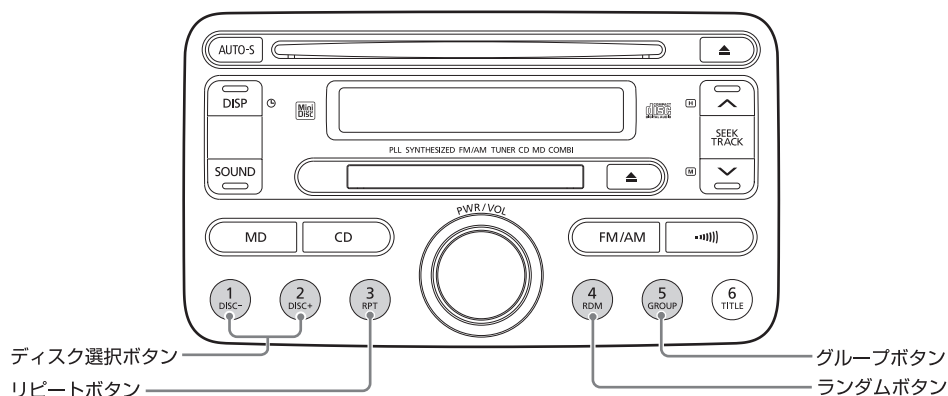
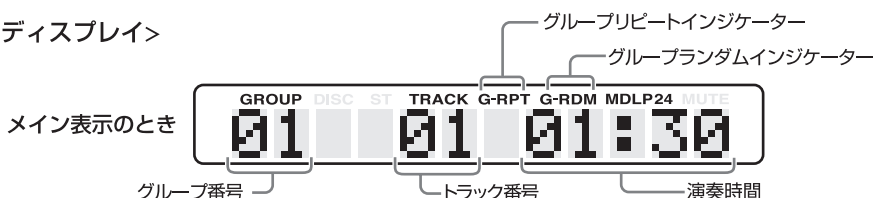
→「RDM」インジケーターが点灯し、「TRACK RANDOM」を表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

ご注意

• グループ機能ONでグループ編集MDを再生している場合は、グループ内の曲を順不同に演奏します。

グループ編集MDを聴く

グループ機能について

グループ機能を「ON」にして、グループ編集MDを再生すると、グループ別の再生が可能となります。

（例）トラック数が10個あり、3つのグループに編集されたMD

・グループ番号　01　　　　トラック番号 2、3
・グループ番号　02　　　　トラック番号 5、6、7
・グループ番号　03　　　　トラック番号 8、9
・NONグループ(※1)　　　トラック番号 1、4、10

●グループ機能OFF時に演奏される順番（トラック番号の順に演奏をします）

グループ番号		01			02			03		
トラック番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

●グループ機能ON時に演奏される順番（グループを優先して演奏をします）

グループ番号	01		02			03		NONグループ（※1）		
トラック番号（※2）	2	3	5	6	7	8	9	1	4	10

※1 グループ編集されていない曲は、NONグループとしてまとまり、最終グループで演奏をします。
※2 トラック番号は、順番には並びません。

グループ機能をON/OFFする

グループ機能ONのとき…
グループを優先して演奏をします。

グループ機能OFFのとき…

通常のMDと同様にトラックNO.の順に演奏します。

• 初期設定は、グループ機能「ON」です。

1 グループ編集MDを入れ、グループボタンを押す

→ディスプレイに「GROUP ON」、または「GROUP OFF」を表示します。

ご注意

• グループ編集MD以外のディスクでは設定することはできません。

グループ編集MDの操作について…

次の操作については、「CD/MDを聴く」(17ページ)をご覧ください。

• 曲を選ぶ
• 早送り、早戻しする
• 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)
• ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

グループを選ぶ

1 ディスク選択ボタンを押す

→前のグループに移ります。

→次のグループに移ります。

1つのグループを繰り返し聴く(グループリピート演奏)

グループリピート演奏について…
演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約2秒間)

→ビープ音が鳴り、「G-RPT」インジケーターが点灯し、「GROUP REPEAT」を表示して、グループリピート演奏をします。

グループリピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

全グループの演奏をランダムに聴く(グループランダム演奏)

グループランダム演奏について…
全グループの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約2秒間)

→ビープ音が鳴り、「G-RDM」インジケーターが点灯し、「GROUP RANDOM」を表示して、グループランダム演奏をします。

グループランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

CDチェンジャーを操作する

ディスプレイボタン
CDボタン
ディスク選択ボタン
リピートボタン
タイトルボタン
ランダムボタン

<ディスプレイ>

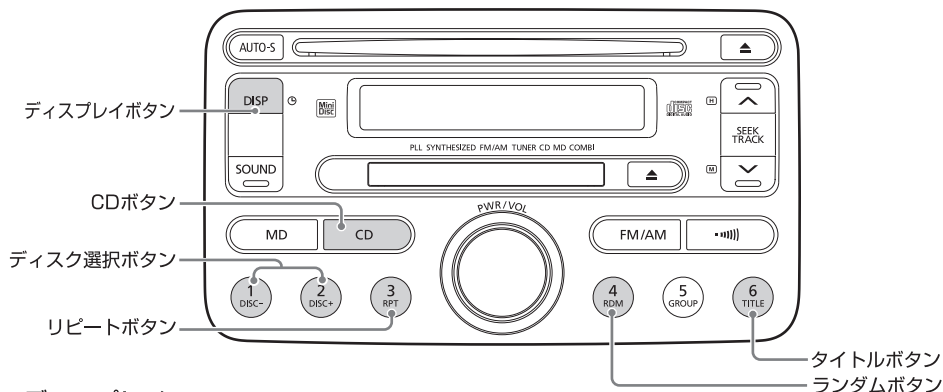
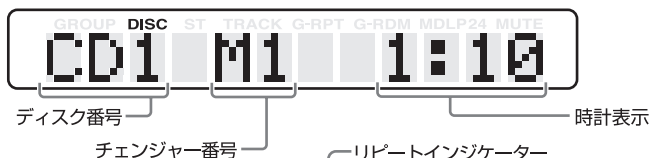
時計表示のとき

CD1 M1 1:10

ディスク番号
チェンジャー番号
時計表示

メイン表示のとき

CD1 01 01:30

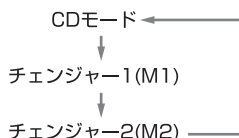
リピートインジケーター
ランダムインジケーター
ディスク番号
トラック番号
演奏時間

CDチェンジャーモードを選ぶ

CDチェンジャーについて…
本機は、別売のCDチェンジャーを合計2台まで接続できます。

CDチェンジャーの操作について…
次の操作については、「CD/MDを聴く」(17ページ)をご覧ください。

- 曲を選ぶ
- 早送り、早戻しする
- 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)
- ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

1 CDボタンを押して、チェンジャーモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り替わります。

→CDチェンジャーモードになると、自動的に演奏が始まります。

- 本機にディスクが入っていない場合および、CDチェンジャーを接続していない場合は表示されません。

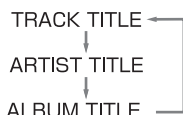
タイトル表示を切り替える

1 ディスプレイボタンを押してタイトル表示を選ぶ

• 詳しくは、9ページをご覧ください。

2 タイトルボタンを押して表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り替わります。

TRACK TITLE
↓
ARTIST TITLE
↓
ALBUM TITLE
（→TRACK TITLEに戻る）

• 一度に表示できる文字数は、12文字までです。
• タイトル名が13文字以上の場合は、タイトルボタンを2秒以上押してください。ビープ音が鳴りページを送ります。

ディスクを選ぶ

1 ディスク選択ボタンを押す

→前のディスクに移ります。

→次のディスクに移ります。

1枚のディスクを繰り返し聴く（ディスクリピート演奏）

ディスクリピート演奏について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける（約2秒間）

→ビープ音が鳴り、「RPT」インジゲーターが点灯し、「DISC REPEAT」を表示してディスクリピート演奏をします。

ディスクリピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

全CDの演奏をランダムに聴く（ディスクランダム演奏）

ディスクランダム演奏について…
チェンジャー内の全CDの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける（約2秒間）

→ビープ音が鳴り、「RDM」インジゲーターが点灯し、「DISC RANDOM」を表示してディスクランダム演奏をします。

ディスクランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

故障かなと思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度、次のことをお調べください。

	症　状	原　因	処　置
共通	電源が入らない/音が出ない	配線が不完全	お買い求めの販売店にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。
CD	CDがすぐ出てしまう	CDを表裏逆に入れている	CDのレーベル面を上にして入れてください。
	音飛びする/ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDをやわらかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	CDが入らない	CD以外のディスクなどが入っている	イジェクトボタンを押して取り出してからCDを入れてください。
MD	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出てしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上に、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次項の「エラー表示」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。
障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
CD	PUSH EJECT	CDデッキ内のCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
CD	CHECK DISC	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
CD	CHECK DISC	CDデッキ内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
MD	PUSH EJECT	MDデッキ内のMDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	MDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
MD	CHECK DISC	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
MD	CHECK DISC	ブランクディスク（無録音）を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
CDチェンジャー	PUSH EJECT	CDチェンジャー内のCDマガジンが引っかかってイジェクトされないときの表示	CDマガジンをイジェクトし、正しく入れ直してください。
CDチェンジャー	CHECK DISC	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
CDチェンジャー	CHECK DISC	CDマガジン内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをCDマガジンに正しく入れ直してください。

※復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕 様

■CDプレーヤー部

周波数特性	：10Hz～20kHz±2dB
SN比	：75dB（JIS-A）
ダイナミックレンジ	：82dB（20kHz LPF）
高調波ひずみ率	：0.06%（20kHz LPF）

■MDプレーヤー部

周波数特性	：10Hz～20kHz±2dB
SN比	：75dB（JIS-A）
ダイナミックレンジ	：90dB（20kHz LPF）
高調波ひずみ率	：0.06%（20kHz LPF）

■FMチューナー部

受信周波数	：76.0MHz～90.0MHz
実用感度	：5dBμ
SN比	：60dB
分離度	：30dB（1kHz,65dBμ）

■AMチューナー部

受信周波数	：522kHz～1,629kHz
実用感度	：28dBμ
SN比	：52dB

■オーディオ部

定格出力	：16W×4（1kHz、10%、4Ω）	
最大出力	：30W×4（JEITA）	
適合インピーダンス	：4Ω	
トーンコントロール	（BASS）	：±12dB（100Hz）
	（TREBLE）	：±12dB（10kHz）

■共通部

電源電圧	：DC13.2V
接地方式	：マイナス接地
消費電流	：4A（1W時）
ヒューズ定格	：15A
外形寸法	：178（W）×100（H）×184（D）mm
質量	：2.0kg

•これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び、外国特許に基づく特許商品